



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成29年度 第6号 平成29年10月27日発行

今月の言葉

共 生

校長 古山真樹

この言葉は皆さんもニュースなどいろいろな場面で目にするでしょう。もとは生物学用語で共存する生物間の相互利益を言う言葉だそうですが、人間も地球上の生態系の一部であり、人間に多くの恵みを与える環境を保全していくことが大切であるという認識に立って、人と地球環境の問題に使われるようになった言葉です。そしてさらには、人種や肌の色、宗教の違い、文化の違い、性別、年齢、障害の有無等に関わりなく安心して暮らせる「共生社会」という言葉が生まれました。

共生社会とは、誰もが幸福に暮らしていく権利をもち、お互いの人格を尊いものと認めて大切に、支え合いながら生きていく社会を言います。21世紀は共生の時代とも言われます。ひじょうに大切なことですが、中学生の君たちにとっては、環境問題や人種差別の問題、また障害をもった方と関わり合うという機会はなかなかないことでしょう。ただし、理解しておくこと、正しい認識をもっておくことは大切です。

さて、君たち中学生にとって「共生社会」の原点は、学校・学年・学級の仲間、部活動の仲間ではないでしょうか。人はそれぞれに様々な特徴や個性をもっています。運動の得意な人・苦手な人、行動が素速い人・ゆっくりしている人、理系に強い人・物づくりは苦手な人、また、発言力の強い人、控えめで遠慮がちな人、など様々な人が共存して生きているのが学校・学級です。あなたは、そうした日頃の仲間たちと本当に共生ができていますでしょうか。本当に差別や偏見なく、みんなと仲良くし、お互いを認め合って生きているでしょうか。

「あいつはのろまだ」「あの子は暗い」と言ってバカにしたり、優越感に浸^{ひた}ったりしていることはないでしょうか。さらにそれを友達に同調を求めて笑いものにして、ついにはいじめに発展してしまうことはないでしょうか。最近では、いじられキャラなどという言葉が当たり前に使われるようになっていますが、バカにされて、笑いものにされて、その時はにこにここと対応している人も実は傷ついているのではないのでしょうか。内心悔しくて悔しくてしょうがないという人の気持ちを想像したことがありますか。

人は誰も得意不得意があります。不得意な部分をことさら指摘されるとつらい気持ちになりますよね。

ところが人は、対象が動物であったり、障害をもって車いすに乗っている方々のように、自分とは明らかに違うとなれば許せるのに、同じ仲間だと許せないという人がいます。見た目には違いはなくてもそれぞれに違った特徴・特性をもった尊い一個の人格であるという認識に欠けた人がいます。

行動がゆっくりとした人、人前で話すのが苦手な人、理解するのに時間がかかる人もその人の特性として理解しなければなりません。その時その場に応じて、温かく見守ってあげたり、そっと手助けをしたりしていくのが「共生社会」です。自分が逆の立場になることもあるのですから。

このように「共生社会」を実現していくためには、様々な体や心の特性や考え方をもっている人すべてが、お互いをわかり合うためのコミュニケーションをとったり、相手の気持ちを想像したりして、認め合い、支え合うことで、誰もが楽しく過ごしていく環境をつくるのが大切です。学校・学級で共生社会を生きる^{いしずえ}礎を養いましょう。

後期生徒会役員

後期生徒会役員が決まり、10月16日に任命式がありました。メンバーは下記の通りです。開進一中の良き伝統を守りつつ、新しいことにも積極的に取り組んでください。

会長	松澤	陸くん (2年3組)
副会長	佐藤	佑真くん (2年2組)
役員	村山	萌香さん (2年3組)
	茂木	侑香さん (2年5組)
	野崎	海大くん (1年2組)
	久保	斐喜さん (1年3組)
	下村	優里さん (1年4組)



道徳地区公開講座

講師 NTT ドコモ人事部 平松孝朗さん

新しいコミュニケーション文化の世界を創造する
～世界はまだまだつまらない～



10月14日(土)に本校で道徳地区講座がありました。この日1校時には全クラス「道徳」の授業を公開。2校時には、NTTドコモ人事部の「平松孝朗さん」にご講演をいただきました。ご講演の後、講師の平松さんをお迎え、保護者の皆様と懇談の時間を持ちました。

保護者アンケートより

☆講師の平松様は、子どもの頃のエピソードや社会人になってから苦労されたお話など、誰にでも起こり得ることを話してくださり、人柄の良さを感じました。苦労や失敗もこういう風に考えて解決していったよ、と子どもたちに教えてくださり、ちゃんと伝わればいいなと思いました。夢をもってあきらめなければ・・・という内容のお話も「ノミ」の例で具体的に説明してくださり、分かりやすかったです。

☆学生時代は点数や先生の求める姿になることが私自身も良いことだと思っておりましたが、本日の講演と実体験もあわせ、自分で考える力をつけることは大事だと思いました。夢をもつこと、個性を大事にすること、チャレンジすること、子どもたちにもぜひ持ち続けてほしいと思いました。

(アンケートにご協力いただきありがとうございました)

オリンピック・パラリンピック教育

木村 敬一 (きむら けいいち) 選手

■演題 「パラリンピックと私」 (競泳)

■日時 11月2日(木) 11時～12時

■場所 本校体育館

※皆様のお越しをお待ちしております。

今後の行事予定

11月 6日(月)～11日(土)	3年進路面談
11月 11日(土)	学校公開
11月 20日(月)～22日(水)	2学期期末考査
11月 25日(土)	開校70周年記念式典
11月 30日(木)	2年校外学習